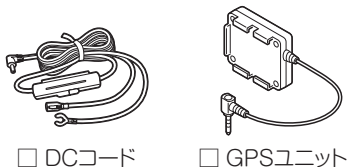


TR-290 をご購入のお客様へ

この度は、ドライビングレコーダー TR-290をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はCSD-290をベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容に
差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-290となりますが、ご了承ください。

【変更箇所】 取扱説明書 P7 付属品の変更

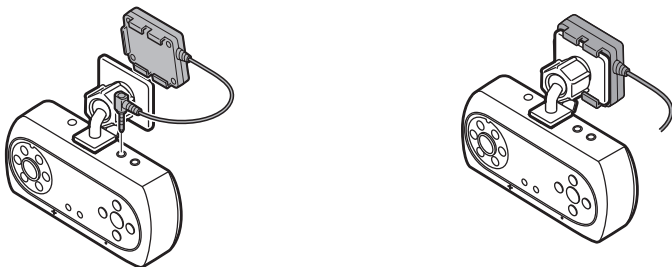
- ・ 付属のDCコードは、直結配線用コードタイプとなります。
- ・ GPSユニットが付属されます。



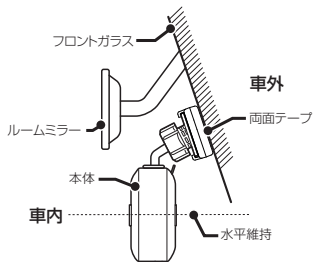
サイズ : 48(W)×11(D)×39.4(H)mm
※突起部含まず
コード長 : 85mm

本機の取り付け方法の補足

- 1 GPSユニットのプラグを本体のGPS
接続端子に差し込みます。
- 2 GPSユニットをマウントベースに取り付
けます。

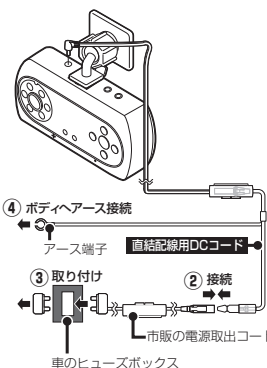


- 3 GPSユニットに両面テープを貼り付けしっかり設置します。



- 4 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

ヒューズボックスから電源を取る場合

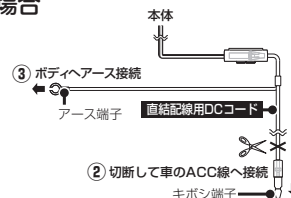


取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズ
タイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。

- ①ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ
(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ②DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッ
テリー側に差し込みます。
- ④DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。
【取り付けに適している場所】
車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアース
コードを直接ボディに接続しているところ)
【取り付けに適さない場所】
・ アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めている
ネジ(タッピングネジなど)
・ チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)
する金属部分

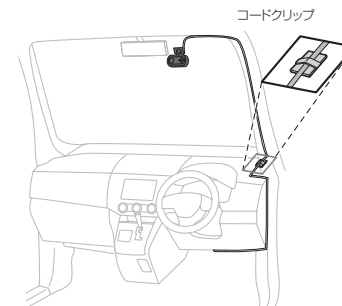
ACC線から直接電源を取る場合



市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直
接電源を取ります。

- ①テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、
オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ②DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロ
タップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

- 5 DCコードは、運転の妨げにならないよう
付属のコードクリップなどを利用して、
配線処理してください。



DRIVING RECORDER

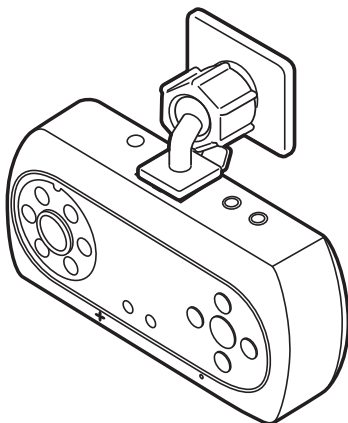
Dvr-GALUDA

CSD-290

取扱説明書

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライビングレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



もくじ

はじめに

はじめに

安全上の注意	3
microSDカードについての取り扱い注意事項	4
使用上の注意	6
録画についての注意事項	6
取り付けについての注意事項	6
アイドリングストップ車での使用について	6
製品の特徴	7
本体/付属品	7
付属品	7
オプション品	7
各部の名称と機能	8

取り付けと準備

取り付けと準備

取り付け方法	9
推奨設置位置(参考)	9
取り付け位置 正面	9
取り付け位置 側面	10
本機の取り付け	10
配線処理	11
ヒューズが切れた場合	11
マウントベースから本体を取り外す	11
microSDカードの挿入および取り出し	12
microSDカードの挿入	12
microSDカードの取り出し	13

基本操作

基本操作

製品の使用方法	14
電源のON/OFF	14
録画モード	14
音声録音のON/OFF(工場出荷時:ON)	15
GPS受信の確認	16
車内撮影用カメラのON/OFF (工場出荷時:ON)	16
クイック録画機能(手動)	16
撮影機能(手動)	17
リアルタイムモニター表示	17
再生モード	18

専用ソフトの説明

音量調節	18
フォーマット	19
システムリセット	19

専用ソフト

専用ビューアー	20
専用ビューアーソフトのインストール方法	20
専用ビューアーの使い方	21
専用ビューアー画面の見方	21
専用ビューアーの環境設定	24

microSDカードのデータについて	26
--------------------	----

困ったときは

故障かな?と思ったら	27
------------	----

その他

製品の仕様	28
-------	----

アフターサービス

アフターサービスについて	30
修理に関して	30
修理受付票	31
保証書	裏表紙
各地域のお客様相談窓口一覧	裏表紙




その他

アフターサービス




安全上の注意






お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。








- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

 危険
 本機は必ず定められた電圧（DC12V/DC24V）でご使用ください。 * 火災や感電、故障の原因となります。
 運転中に本機を操作しないでください。 * 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。 * 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。 * ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

 警告
 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。 * 車両のキーがONの状態を取り付けると、感電および故障の原因となります。
 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。 * 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。 * 火災などの原因となります。
 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。 * 製品の变形および火災、爆発の原因となります。
 コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。 * コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。 * 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。

警告

- ⚠ 本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ オプションの GPS ユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。（オプションの GPS ユニットが必要）
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあり、録画品質が落ちることがあります。（オプションの GPS ユニットが必要）
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができません。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。

microSDカードについての取り扱い注意事項

⚠ microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。

- ⚠ microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
 - * 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- ⚠ microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
 - * microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ 一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- ⚠ microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くとき、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

- ❗ microSD カードを使用する際には、microSD カードのロックは必ず解除してください。
* microSDカードがロックされている場合は、記録、録音ができません。
- ❗ 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。
- ❗ microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的にフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。
* 外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。
- ❗ 指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、データの損失および故障の原因となります。
- ⊘ microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- ⊘ 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
- ⊘ データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ⊘ microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSD カードの破損するおそれがあります。
- ⊘ microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- ⚠ microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- ⚠ microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 本機は 16GB までご使用になれます。
* SDHC 規格に準拠した microSD カードが使用できます。
* クラス 4（Class 4）以上推奨。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 録画の条件により、録画のフレームレートが変わる場合があります。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P9参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

製品の特徴

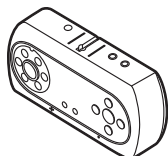
- ・地上デジタルテレビと電波干渉しない。
- ・走行中に自動で車内外を録画（一般走行中の外部衝撃、その他事故発生時）
- ・車外撮影に広視野角（120°）をサポート（150万画素高画質CMOSカメラ搭載）
- ・車内撮影に広視野角（140°）をサポート（30万画素CMOSカメラ搭載）
- ・赤外線LEDで車内の夜間撮影が可能
- ・映像記録中の音声録音をサポート
- ・3Gセンサー内蔵（前後、左右、上下の衝撃を感知し記録）
- ・常時録画モードとイベント録画モードを手動で選択可能
- ・事故発生時、電源コードが外れても安心
- ・DC12V/24V車に対応
- ・専用ビューアソフト付属
- ・撮影機能

本体/付属品

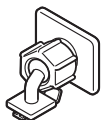
付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライビングレコーダー本体



□マウントベース



□両面テープ



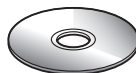
□DCコード



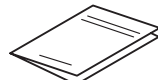
□microSDカード



□コードクリップ×5



□ビューアソフト
(CD-ROM)

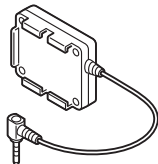


□取扱説明書(本書)

オプション品

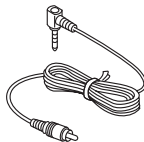
別途お買い求めください。

●GDO-01 GPSユニット



録画した映像にGPS情報や走行速度などの情報を付加することができます。ビューアソフトで各種情報を表示できます。

●GDO-02 ビデオ出力コード

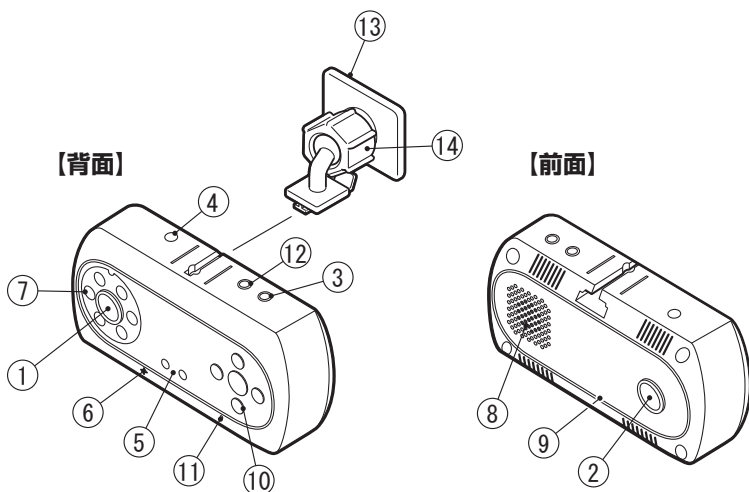


録画した映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P17.18参照)

●RO-103 直結線用DCコード



各部の名称と機能



① 車内撮影用カメラ
(COMSカメラ 30万画素 視野角:140°)

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② 車外撮影用カメラ
(COMSカメラ 150万画素 視野角:120°)

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

③ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード (GDO-02) を接続します。

④ DCソケット

DC コードを接続し、DC12V/DC24V を本機に入力します。

⑤ LEDランプ (GPS LED / REC LED)

本機とオプションの GPS ユニット (GDO-01) の動作状態を表示します。

⑥ マイク

映像記録中の音声を録音します。

⑦ 赤外線LED

夜間でも鮮明に車内撮影できます。

⑧ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑨ microSDカードスロット

付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑩ 操作ボタン

機能の動作、音量の調整に使用します。

⑪ リセットボタン

本機を再起動します。

⑫ GPS (GPS接続端子)

オプションの GPS ユニット (GDO-01) を接続します。

⑬ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。
* オプションの GPS ユニット (GDO-01) を使用する場合、マウントベースに固定します。

⑭ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

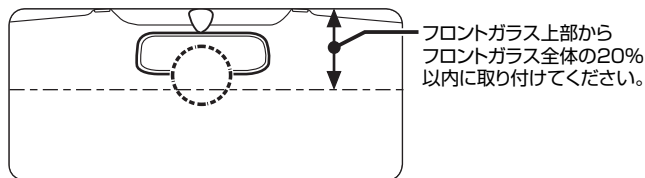
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に付属のDCコード以外のコードは使用しないでください。
- カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 本機の精度に影響が出ないようにオプションのGPSユニット付近にはETC、カーナビゲーションなど他の製品と離して取り付けてください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。

⚠ 警告

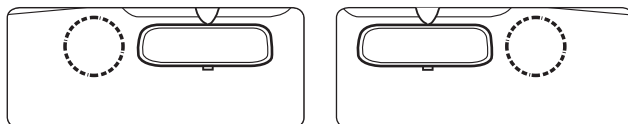
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面の汚れなどはきれいに拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

推奨設置位置（参考）

取り付け位置 正面



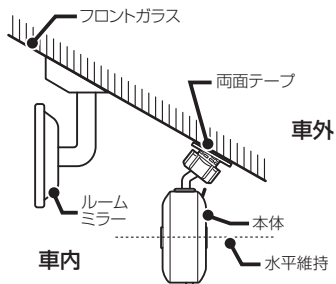
ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



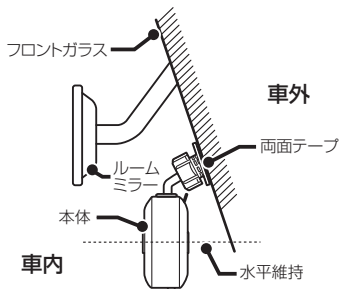
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角(120°)を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

取り付け位置 側面

■ 一般乗用車



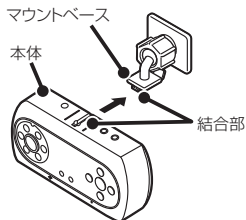
■ バスまたはトラック



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- フロントガラスの角度が急な場合は、図のようにマウントベースを180度回転させ上下を逆にして、水平を維持してください。

本機の取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



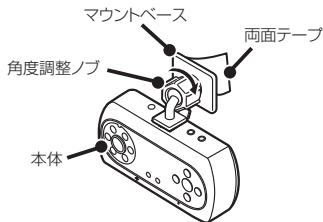
- 2 両面テープを使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

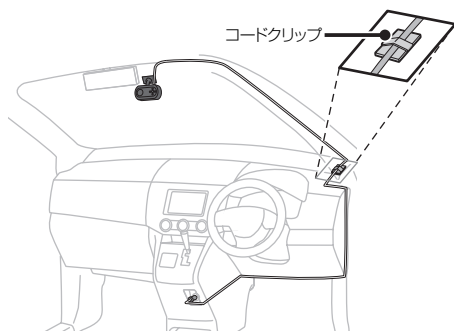


配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

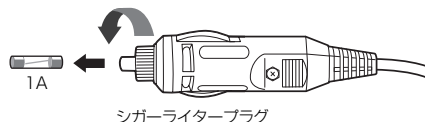


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

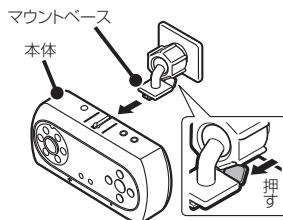
ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、取り付け方法とは逆に本体を矢印の方向に引き外します。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードの挿入および取り出し

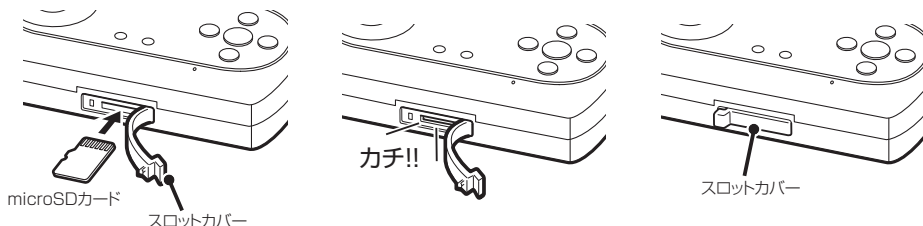
⚠ 注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードまたは本機で指定している市販のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。（最大20秒程度かかります）その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。

microSDカードの挿入

microSDカードの挿入は製品の電源ON/OFFに関わらず挿入可能です。
挿入と同時に、本機が再起動いたします。

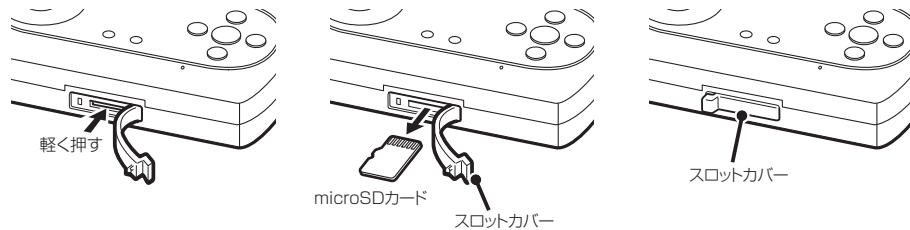


- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあとは、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

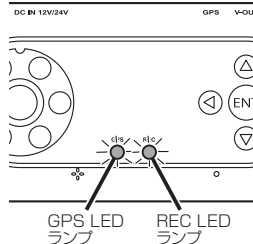
製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。

電源のON/OFF



■電源のON

本機には電源スイッチがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。約5秒後に次のようなLEDランプの状態でお知らせします。

	Step 1	Step 2	Step 3
GPS LED ランプ			消灯
REC LED ランプ	赤 / 緑同時の点灯	赤の点灯	赤の点灯

* microSDカードが挿入されていない、もしくはエラーが発生した場合は、次のようにLEDランプでお知らせします。

GPS LED ランプ	
REC LED ランプ	赤の点滅 (約 1 秒間隔)

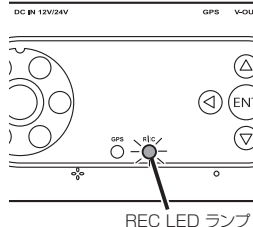
* カメラ初期化エラーの場合は、すべてのLEDが点滅 (約0.5秒間隔) します。

■電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

録画モード

本機が動作すると同時に録画が開始されます。



● 録画モードの状態をREC LEDランプでお知らせします。

録画モード	REC LED ランプの状態
常時録画モード	緑、または赤 / 緑同時の点滅 (約 1 秒間隔)
イベント録画モード	赤の点滅 (約 0.5 秒間隔)

■ 常時録画モード

録画モードおよび時間

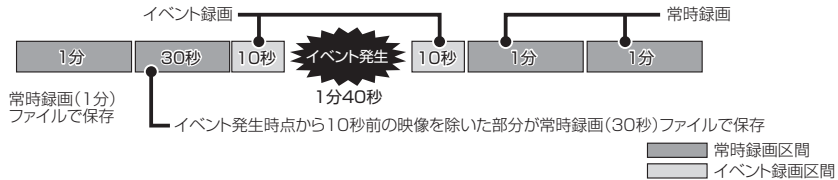
イベントに関わらず1分単位で続けて録画します。



■ イベント録画モード

例) 録画を始めたあと、1分40秒にイベントが発生した場合

常時録画とイベント録画を同時におこないます。常時録画中にイベントが発生した場合、常時録画を中断して効果音と一緒にイベント録画がおこなわれます。イベント録画完了後、再び常時録画に戻ります。



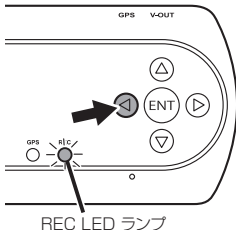
- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。センサーの感度調整は「専用ビューアーの環境設定」で調整することができます。(P24参照)
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画とイベント録画の各領域は、全体容量の3：1の割合で分割管理されています。

例) 2GBのmicroSDカードを使用した場合

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	約 1.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	約 0.5GB (規格容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

音声録音のON/OFF (工場出荷時：ON)

本機の動作中に◀ボタンを1秒以上長押しすると、効果音が1回鳴り、音声録音のON/OFFを切り替えます。



- 音声録音の状態をREC LEDランプでお知らせします。

ON/OFF	REC LED ランプの状態
音声録音 ON	緑の点滅 (約 1 秒間隔)
音声録音 OFF	赤/緑同時の点滅 (約 1 秒間隔)

- * イベント録画中は、赤の点滅 (約0.5秒間隔) となりますが、音声録音は設定どおりに動作します。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

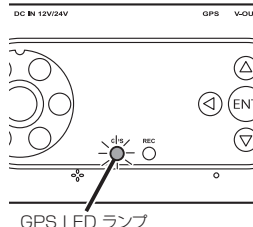
困ったときは

その他

アフターサービス

GPS受信の確認

本機にオプションのGPSユニット（GDO-01）を接続すると、GPS信号を受信することができます。



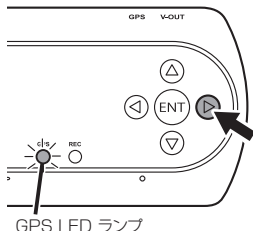
●GPS信号の受信状態をGPS LEDランプでお知らせします。

状態	GPS LED ランプの状態
GPS 未測位または未接続	赤の点灯、または点滅（約 1 秒間隔）
GPS 測位	緑の点灯、または点滅（約 1 秒間隔）

* 車内撮影用カメラのON時はLEDランプが点灯、OFF時は点滅します。
（次項「車内撮影用カメラのON/OFF」を参照）

車内撮影用カメラのON/OFF（工場出荷時：ON）

本機の動作中に**▶ボタン**を1秒以上長押しすると、効果音が1回鳴り、車内撮影用カメラのON/OFFを切り替えます。



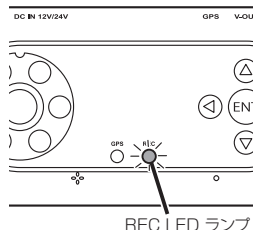
●車内撮影用カメラの状態をGPS LEDランプでお知らせします。

ON/OFF	GPS LED ランプの状態
車内撮影用カメラ ON	赤、または緑の点灯
車内撮影用カメラ OFF	赤、または緑の点滅（約 1 秒間隔）

* GPS測位時は緑のLEDランプ、未測位時は赤のLEDランプで表します。
（前項「GPS受信の確認」を参照）

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

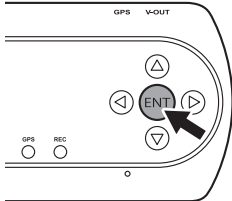


本機の動作中に**ENTボタン**を短く押すとLEDが点滅し、手動にてイベント録画することができます。（ボタン押した10秒前と10秒後を含み記録します）

* この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。



本機の動作中に**ENTボタン**を3秒以上長押しすると効果音が鳴り、映像を手動で撮影することができます。

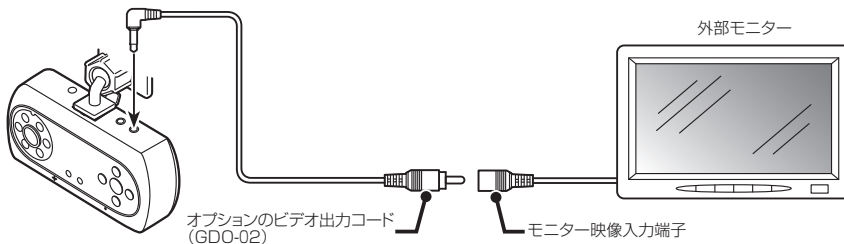
リアルタイムモニター表示

オプションのビデオ出力コード（GDO-02）を外部モニターに接続すると現在録画されている映像をリアルタイムで表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

●ビデオ出力の内容は次のように表示されます。

車内カメラの ON / OFF 状態	ビデオ出力の表示内容
車内撮影用カメラ ON	<p>車内カメラの映像</p> <p>車外カメラの映像</p>
車内撮影用カメラ OFF	<p>車外カメラの映像</p>

●外部モニターとの接続方法



*必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-02）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

*モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

専用ソフトの説明

困ったときは

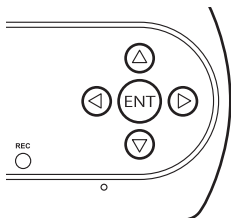
その他

アフターサービス

再生モード

■再生するには（準備）

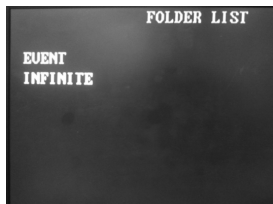
再生するには、オプションのビデオ出力コード（GDO-02）を使用して外部モニターに接続する必要があります。



ボタン	動作	
	フォルダ / ファイルリスト	再生中
△	上位ファイルに移動	
▽	下位ファイルに移動	
▷	下位フォルダに移動	10 秒先に進む
◁	上位フォルダに移動	10 秒前に戻る
ENT	再生	停止

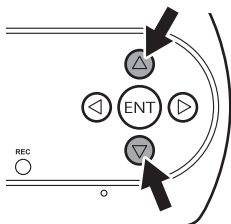
■再生方法

本機の操作ボタンを使用して、以下の操作で記録映像を再生できます。



- 1 DCコードを取り外し電源を切る。
- 2 **ENTボタン**を押しながら、DCコードを取り付け電源を入れる。画面再生モードで起動します。
 - * 通常モードに戻すには、DCコードを一旦抜き、再度差してから電源を入れ直します。初期画面は左のように表示されます。
 - EVENT : イベント録画フォルダ
 - INFINITE : 常時録画フォルダ
 - * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

音量調節



常時録画モード時に△/▽ボタンで音量を調節することができます。

△ボタン：大きく

▽ボタン：小さく

* 音量は5段階で調節することができます。

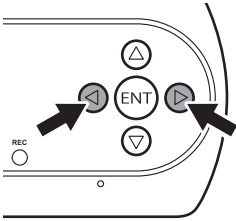
* 変更した設定内容は本機に保存されます。

フォーマット



注意

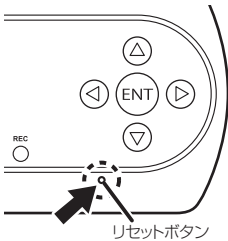
この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。



- 1 本機の◀/▶ボタンを同時に押した状態で、本機の電源を入れる。REC LEDランプが橙色で1秒間隔点滅しながらフォーマットを開始します。フォーマットが完了すると、システムがリセットされ再起動します。

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。本機がリセットされます。

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

専用
ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

専用ビューアー

運行時の録画映像やルート、GPS情報、衝撃グラフなどの記録データを確認することができる専用ビューアーソフトです。

■動作環境 (PC推奨スペック)

- ・ CPU: Pentium4 2.0 GHz以上
- ・ RAM容量: 1GB RAM以上
- ・ OS: WIN98/ME/2000/XP/VISTA/WIN7
- ・ HDD: 1GB以上の空き容量
- ・ GPU: Geforce4以降

専用ビューアーソフトのインストール方法

データを確認する場合は、ソフトをインストールしてください。



次へボタン

- 1 付属のビューアーソフト収録のCD-ROMをパソコンにセットし、CD-ROMを開き、「**setup.exe**」をダブルクリックする。
- 2 **次へボタン**をクリックする。



インストールボタン

- 3 **インストールボタン**をクリックする。




完了ボタン

- 4 インストールが完了したら**完了ボタン**をクリックする。

専用ビューアーの使い方



専用ビューアーは、microSD カードが挿入されていないと動作しません。

専用ビューアーアイコン  をダブルクリックすると、次の画面を表示します。

専用ビューアー画面の見方



* この画像は実際のソフトウェアの動きと異なります。

番号	名称	機能
①	再生画面	録画した映像を表示します。 画面左：車外撮影用カメラの映像 画面右：車内撮影用カメラの映像
②	3G センサー / 再生位置	3G センサーのグラフ / 再生位置を表示します。
③	GPS速度計	GPSで計測した走行速度を表示します。 *オプションの GPS ユニット (GDO-01) が必要です。 * GPS 速度計の動作はイメージです。
④	再生速度調整	再生の速度を調整します。
⑤	操作ボタン	録画した映像の再生操作をします。 [Back]：1 つ前のファイルに戻る [Stop]：停止 [Play]：再生 [Next]：次のファイルに進む
⑥	音量の表示	音声の再生音量を調整します。
⑦	方位 / スピード	車の走行方向および走行速度を表示します。 *オプションの GPS ユニット (GDO-01) が必要です。
⑧	ファイル管理	ファイルのオープン、コピー、クリアができます。
⑨	ファイル整列ボタン	再生可能なファイルのリストを表示します。
⑩	ファイルリスト	再生可能なファイルを表示します。
⑪	地図	走行経路が地図に表示されます。 *オプションの GPS ユニット (GDO-01) とインターネットの接続が必要です。
⑫	キャプチャー	現在表示中の映像をキャプチャーして、静止画ファイル (JPG) として保存します。
⑬	環境設定	microSD カードが挿入されていないと開きません。 日付や映像品質、3G センサーの感度、録画方式などの設定ができる「環境設定」画面を表示します。(P24 参照)
⑭	最小化、最大化、終了	専用ビューアー画面を最小化、最大化、または終了します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

サブタイ
プス

ファイルリスト



機能	説明
ファイルリスト	microSD カード内のファイルリストを表示します。
チェックボタン	ファイルの選択および解除をします。

* ファイルリストは古いファイルから順に整列します。

* ファイルのコピーまたはクリアをするにはファイル名のチェックボタンを選択しておこないます。

ファイル管理ボタン

ボタン	機能	説明
開く	ファイルを開く	保存されているファイルを再生リストに追加します。
保存	ファイルを保存する	リストから選択した microSD カードのファイルをPCに保存します。
クリア	ファイルをクリアする	ファイルリストから選択したファイルをクリアします。

■ファイルを開く

- 1 **開くボタン**をクリックする。
ファイルの選択画面が開きます。
- 2 microSDカード上に保存されている録画ファイルを選択する。
* ファイルの選択は個別選択または全選択（Ctrl+A）ができます。

■ファイルの保存

- 1 コピーをおこなう録画ファイルの**チェックボタン**をクリックする。
- 2 選択が完了したら**保存ボタン**をクリックする。
* コピーしたファイルは指定のフォルダに保存されます。

■ファイルのクリア

- 1 ファイルリストからクリアする録画ファイルの**チェックボタン**をクリックする。
- 2 選択が完了したら**クリアボタン**をクリックする。
* ファイルのクリアができるのは、microSDカード内のファイルだけです。

ファイル整列ボタン

ファイル別に表示を切り替えることができます。

ボタン	機能	説明
全て	全体ファイル	すべてのファイルを表示します。
常時	常時録画ファイル	常時録画ファイルのみ表示します。
イベント	イベント録画ファイル	イベント録画ファイルのみ表示します。

専用ビューアーの環境設定

環境設定アイコン  をダブルクリックすると、次の画面を表示します。

■環境設定



番号	機能	説明
①	時刻設定	現在の日付、時刻を設定します。 *適用ボタン：内部時間を設定した時間に変更します。(_time_ini.cfg)
②	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
③	映像画質	録画品質を設定します。（工場出荷時は高い） 低い： 低画質 標準： 標準 高い： 高画質
④	録画方式	録画方式を設定します。 （工場出荷時はイベント録画モード（常時録画＋イベント録画））
⑤	速度計単位	GPS 情報の速度計表示単位を選択します。
⑥	3G センサー感度	3G センサーの感度を設定します。 *数値を高くすると、感度が上がります。
⑦	車ナンバー入力	車ナンバー（車両情報）を入力します。ファイルを再生するときに、車ナンバーが表示されます。
⑧	OK	設定を保存します。
⑨	キャンセル	キャンセルします。（設定は保存されません）

■メモリー情報



番号	機能	説明
①	メモリー情報	microSD カードのメモリー情報を表示します。
②	初期化実行	microSD カードのフォーマット（初期化）をおこないます。 *大切なデータを事前にバックアップしてください。

■バージョン情報



番号	機能	説明
①	ファームウェア・バージョン	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
②	PC 再生ソフト・バージョン	専用ビューアーのバージョン情報を表示します。
③	パスワード	「パスワードを有効にする」を選択して、パスワードを入力します。 パスワード変更ボタン を押して、入力したパスワードを登録します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベント発生時に20秒間の動画および音声、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。

■その他のファイルについて

- _system_ini.cfg
PC Viewerの環境設定を_system_ini.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。
_system_ini.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- version.txt
製品のバージョン情報を表示します。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。	P8,P11
	<ul style="list-style-type: none">シガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。	—
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P12
	<ul style="list-style-type: none">microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P5 P12-P13
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none">専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P24
ひんばんに録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none">専用ビューアーの環境設定の「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P24

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

専用ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の仕様

■CSD-290の仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	150万画素 CMOS カメラ
	フレームレート	15fps *車内撮影用カメラオフ時 22fps
	視野角	120°
	最低被写体照度	1.33LUX
車内撮影用カメラ	撮像素子	30万画素 CMOS カメラ
	フレームレート	7fps
	視野角	140°
	最低被写体照度	1LUX
	暗所撮影機能	赤外線 LED
録画画素数	30万画素	
録画画質	高画質 (2.25Mbps) / 標準 (1.85Mbps) / 低画質 (1.45Mbps)	
録画圧縮	MPEG-4	
録画トリガ	常時録画 / イベント録画 / クイック録画	
3G センサー	衝撃感度	10段階
対応外部記憶媒体	microSD カード 1GB ~ 16GB (クラス4/SDHC 規格準拠)	
記録データ	日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル *オプションの GPS ユニットの (GDO-01) が必要	
音声録音	有り	
外部映像出力	有り	
インターネット地図連動	有り	
補助電源	有り	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10℃ ~ -60℃	
サイズ	93 (W) × 23 (D) × 48 (H) mm ※突起部含まず	
本体重量	60g	

■撮影可能時間の目安 (車外+車内撮影時)

常時録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 65分	約 75分	約 90分
4GB	約 130分	約 155分	約 185分
8GB	約 265分	約 310分	約 370分
16GB	約 530分	約 620分	約 745分

イベント録画 / microSD カードの容量	録画品質		
	高画質	標準	低画質
2GB	約 25分	約 30分	約 40分
4GB	約 55分	約 65分	約 80分
8GB	約 110分	約 130分	約 165分
16GB	約 220分	約 265分	約 330分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

専用
ソフト
の説明

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P31参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P31参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAXでご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDFダウンロード：48KB）
http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P27参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P31参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス 〒518-1145 三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5 TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品のご企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：Dvr-GALJU DA CSD-290

ご購入の前必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中ご連絡可能な電話番号：		<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
ご購入日：	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 <small>※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。</small>		
同梱した付属品：合計（ ）点	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。		
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

アフターサービス（つづき）

アフター
サービス

その他

困ったときは

専用ソフト
の説明

基本操作

取り付けと
準備

はじめに

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P31参照）も併せてご記入ください。

製品名： Dvr-GALUDA CSD-290	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 1年 お買い上げ 年月日から 1年間有効
ご住所：	
お電話：	



以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外觀上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ装置など消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867 (無料)

【受付時間】 9:00～17:30

(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが

ご利用にならない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業 (株) 仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業 (株) 本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106
- セルスター工業 (株) 水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業 (株) 名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099 (代) / FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業 (株) 大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業 (株) 福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057
- 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員

<http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR®

セルスター工業株式会社